



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 神奈川中央交通株式会社

コード番号 9081 URL <http://www.kanachu.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 三澤 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 向井 隆夫

TEL 0463-22-8800

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年11月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	56,243	5.1	3,920	30.9	3,656	36.8	2,532	70.2
24年3月期第2四半期	53,501	1.4	2,995	23.9	2,672	32.5	1,488	73.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,729百万円 (69.5%) 24年3月期第2四半期 1,610百万円 (291.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	40.92	—
24年3月期第2四半期	24.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	133,661	32,781	22.5
24年3月期	135,794	30,210	20.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 30,056百万円 24年3月期 27,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	2.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,600	1.3	5,280	0.8	4,560	0.1	2,900	20.4	46.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	63,000,000 株	24年3月期	63,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,108,686 株	24年3月期	1,108,793 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	61,891,467 株	24年3月期2Q	61,951,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として設備投資や個人消費等に持ち直しの動きがみられましたが、欧州政府債務危機による海外経済の減速や長引く円高などにより、景気回復の動きに停滞がみられ、引き続き先行き不透明な状況にありました。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な増収策を図るとともに、経費の節減ならびに経営全般の効率化に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は562億4千3百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は39億2千万円（前年同期比30.9%増）、経常利益は36億5千6百万円（前年同期比36.8%増）、四半期純利益は25億3千2百万円（前年同期比70.2%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

(一般旅客自動車運送事業)

乗合業においては、4月に道路狭隘地区における利便性の向上を図るため、上大岡駅～日野ヶ丘循環線の運行を開始し新規顧客の獲得に努めました。5月にノンステップ連節バス「ツインライナー」を湘南台、本厚木に続いて都内初となる町田バスセンター～山崎団地センター間において運行を開始し、高効率な輸送を実現するとともに、町田バスセンター周辺の渋滞緩和に努めました。また、7月に相模大野・町田～羽田空港線の増便を行い、新規顧客の獲得を図り、9月には古淵駅～北里大学病院の急行系統を新設し、利用者利便の向上を図りました。あわせて、前年度における震災の影響からの回復などにより増収となりました。

貸切業においては、旅行会社への営業を強化するなど積極的な営業に努めたことや、震災の影響により大幅に減少していた需要の回復などにより増収となりました。

乗用業においては、4月より神奈中タクシーグループによる共同配車の実施エリアを伊勢原・厚木地区に拡大したことなどにより増収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は296億3千3百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は18億8千6百万円（前年同期比110.4%増）となりました。

(不動産事業)

分譲業においては、平塚市めぐみが丘にて1棟の建売分譲および1区画の宅地分譲を行いました。また、賃貸業においては、4月より新たに「舞岡貸店舗」の賃貸を開始いたしましたが、老朽化したビルの建替えやテナントの入替えに伴う賃料の減により減収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は21億6千6百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は10億4千9百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

(自動車販売事業)

自動車販売事業においては、商用車販売におけるトラックの販売がエコカー補助金・減税による代替の前倒し効果によって好調に推移したことや、輸入車販売における商業施設での展示会の実施など、積極的な営業活動に努めたことにより販売台数が増加し、増収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は109億9千1百万円（前年同期比24.0%増）、営業利益は2億8千9百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

(レジャー・スポーツ事業)

スポーツ施設業においては、スイミング・テニス両スクールにて無料体験会を実施するなど新規会員の獲得を図ったことにより会員数が増加し増収となりました。

ゴルフ場業においては、伊豆市が実施しているインバウンド観光客の受け入れや、アマチュアゴルフ向けのオープンコンペを開催するなど、集客の強化を図ったことにより増収となりました。

温浴業においては、4月に「たや店」において施設をリニューアルするなど集客の強化を図ったことにより増収となりました。

遊技場業においては、8月に遊技スペースの分煙化などのリニューアルを行い集客に努めましたが、近隣施設との競合などにより利用客数が減少し減収となりました。

以上の結果、レジャー・スポーツ事業全体の売上高は48億2百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は2億3千万円（前年同期比11.0%減）となりました。

(その他の事業)

飲食・娯楽業においては、5月に「はなまるうどんミスターマックス湘南藤沢店」、7月に「らーめん花樂大船店」のリニューアルを実施し、新規顧客の獲得に努めました。また、期間限定メニューの提供や各種キャンペーンを行うなど、顧客満足度の向上に努めました。しかしながら、「TSUTAYA白旗神社前店」を1月に閉店したことや競合店との価格競争の影響により減収となりました。

ホテル業においては、宿泊部門において各種団体やエージェントへの販促活動を強化することで新規顧客の獲得に努めました。また、飲食部門においては季節の食材を活かした各種イベントを実施するなど積極的な営業活動を推進するとともに、カフェレストラン「楓」においてメニューを更新し顧客満足度の向上に努めました。前期のカatalog販売の特需の影響により減収となりました。

その他の事業においては、総合ビルメンテナンス業における設備更新工事の受注や、商用車架装台数の増加などにより増収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は138億3千6百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は5億1千9百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

総資産は、自動車販売事業における受取手形及び売掛金の減少や減価償却などにより、前期末に比べて21億3千3百万円減少し、1,336億6千1百万円となりました。

負債は、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて47億4百万円減少し、1,008億7千9百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて25億7千1百万円増加し、327億8千1百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益43億6千6百万円に減価償却費などを加減した結果、76億6千6百万円の資金収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の償還による収入5億円などがあったものの、固定資産の取得による支出21億6千9百万円などにより、10億4千9百万円の資金支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより、70億4千1百万円の資金支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べて4億2千4百万円減少し、24億8千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、今後の事業環境が依然として不透明であることから、現時点において平成24年4月26日発表の数値から修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,192	2,718
受取手形及び売掛金	7,663	7,315
商品及び製品	3,735	3,884
仕掛品	3	11
原材料及び貯蔵品	427	419
その他	2,319	2,699
貸倒引当金	△65	△53
流動資産合計	17,276	16,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,034	74,213
車両運搬具	36,102	35,763
土地	60,648	60,606
その他	14,727	15,267
減価償却累計額	△83,900	△85,335
有形固定資産合計	101,612	100,515
無形固定資産	976	879
投資その他の資産		
投資有価証券	12,432	11,856
その他	3,523	3,437
貸倒引当金	△26	△23
投資その他の資産合計	15,928	15,270
固定資産合計	118,518	116,665
資産合計	135,794	133,661
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,001	5,591
短期借入金	31,240	28,552
未払法人税等	778	1,341
賞与引当金	2,103	2,012
その他	11,547	12,681
流動負債合計	51,671	50,180
固定負債		
長期借入金	31,514	28,035
退職給付引当金	5,958	5,742
役員退職慰労引当金	52	50
その他	16,386	16,869
固定負債合計	53,912	50,699
負債合計	105,584	100,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	693	693
利益剰余金	22,985	25,363
自己株式	△588	△588
株主資本合計	26,249	28,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,302	1,393
繰延ヘッジ損益	59	35
その他の包括利益累計額合計	1,361	1,428
少数株主持分	2,599	2,725
純資産合計	30,210	32,781
負債純資産合計	135,794	133,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高		
一般旅客自動車運送事業営業収益	28,846	29,512
不動産事業売上高	2,230	2,161
その他の事業売上高	22,424	24,570
売上高合計	53,501	56,243
売上原価		
一般旅客自動車運送事業運送費	25,149	24,988
不動産事業売上原価	798	766
その他の事業売上原価	17,293	19,348
売上原価合計	43,240	45,102
売上総利益	10,260	11,141
販売費及び一般管理費		
販売費	4,685	4,726
一般管理費	2,579	2,493
販売費及び一般管理費合計	7,264	7,220
営業利益	2,995	3,920
営業外収益		
受取配当金	102	107
その他	159	145
営業外収益合計	262	253
営業外費用		
支払利息	513	442
その他	72	75
営業外費用合計	585	517
経常利益	2,672	3,656
特別利益		
受取補償金	18	675
固定資産売却益	27	289
その他	115	193
特別利益合計	161	1,158
特別損失		
投資有価証券評価損	5	214
固定資産除却損	110	102
その他	139	130
特別損失合計	255	447
税金等調整前四半期純利益	2,579	4,366
法人税、住民税及び事業税	363	1,302
法人税等調整額	604	395
法人税等合計	967	1,698
少数株主損益調整前四半期純利益	1,611	2,668
少数株主利益	123	135
四半期純利益	1,488	2,532

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,611	2,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	85
繰延ヘッジ損益	△90	△23
その他の包括利益合計	△1	61
四半期包括利益	1,610	2,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,480	2,600
少数株主に係る四半期包括利益	129	129

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,579	4,366
減価償却費	3,552	3,155
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△216	△215
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△64	△90
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△15
受取利息及び受取配当金	△104	△109
支払利息	513	442
固定資産圧縮損	51	82
固定資産除売却損益 (△は益)	68	△178
投資有価証券評価損益 (△は益)	5	214
売上債権の増減額 (△は増加)	△969	347
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△562	△121
仕入債務の増減額 (△は減少)	641	△409
未払消費税等の増減額 (△は減少)	92	△25
預り保証金の増減額 (△は減少)	△56	55
その他	1,378	1,227
小計	6,904	8,727
利息及び配当金の受取額	104	109
利息の支払額	△485	△428
法人税等の支払額	△50	△740
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,472	7,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△154	△104
定期預金の払戻による収入	164	154
固定資産の取得による支出	△1,224	△2,169
固定資産の売却による収入	34	427
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	48	142
投資有価証券の償還による収入	—	500
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,132	△1,049
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△281	△2,745
リース債務の返済による支出	△375	△371
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△4,141	△4,421
社債の償還による支出	△882	△344
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△80	△0
配当金の支払額	△154	△154
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,920	△7,041
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△580	△424
現金及び現金同等物の期首残高	3,931	2,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,351	2,488

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業	レジャー・ スポーツ 事業	その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	28,846	2,230	8,131	4,977	9,315	53,501	—	53,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	5	729	25	3,806	4,686	△4,686	—
計	28,965	2,236	8,860	5,002	13,122	58,188	△4,686	53,501
セグメント利益	896	1,102	273	259	507	3,039	△43	2,995

(注) 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通業、飲食・娯楽業、ホテル業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業	レジャー・ スポーツ 事業	その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	29,512	2,161	10,135	4,779	9,655	56,243	—	56,243
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	4	855	23	4,180	5,186	△5,186	—
計	29,633	2,166	10,991	4,802	13,836	61,430	△5,186	56,243
セグメント利益	1,886	1,049	289	230	519	3,974	△54	3,920

(注) 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通業、飲食・娯楽業、ホテル業等を含んでおります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。